

平成 26 年度 第 3 回日本粘土学会評議員会議事録

日 時：平成 26 年 7 月 26 日(土) 13:00—15:00

場 所：早稲田大学理工学キャンパス 62W号館 1 階 中会議室 (62W-1-08)

出席者(順不同, 敬称略)

山田、八田、黒田、中川、山崎、志々目、鈴木(正)、宮脇、高木、篠原、日比野、鈴木(憲)、伊藤、太田、佐藤(久)、高橋、中戸、万福、土信田、横山(記)

1. 報告事項

- (1) 粘土科学の発行・編集状況(鈴木(正))：第 53 巻 1 号および第 53 巻 2 号の発行予定に関して報告された(別紙)。また、粘土科学投稿規定を踏まえたフォーマットの作成を今後進めていくとの報告があった。
- (2) Clay Science の発行・編集状況(八田)：Vol. 17 No. 3 以降の発行・編集状況を含め、今後の発行予定について報告がなされた(別紙)。投稿論文数が少なく定期発行が困難な状況であることから、論文の Clay Science への投稿依頼があった。また、Vol. 18 No. 1 より表紙を白黒に変更したとの報告があった。
- (3) 会計(志々目)：平成 26 年度会計中間収支状況(別紙)の報告がなされた。
- (4) 行事：第 58 回粘土科学討論会について(鈴木(正))：審議事項と合わせて審議することとした。
- (5) 国際協力(八田)：AIPEA のニューズレターの公開についての紹介がなされた。また、八田常務委員長が取りまとめた 2017 年までの本会と関連する国際学会リストの紹介があり、ホームページ上で情報提供することとなった。
- (6) 企画
 - ①標準粘土(宮脇)：標準粘土の依頼状況について報告がなされた。
 - ②シンポジウム(鈴木(正))：審議事項と合わせて審議することとした。
 - ③ホームページ(八田)：特になし。
- (7) 庶務 会員動向(山崎)：会員の動向に関して報告があった(別紙)。
- (8) 連合等(山崎)：今後も継続して関連学協会の情報収集を行うとの報告があった。
- (9) 事務局(土信田)：共催・協賛について報告があった(別紙)。
- (10) その他 特になし

2. 審議事項

- (1) 第 58 回粘土科学討論会(福島)について
鈴木(正)委員より第 58 回粘土科学討論会の準備状況等について以下の説明がなされ、承認された。
 - ・現状の参加申込者は 113 名、見学会参加希望者は 38 名であった。
 - ・粘土科学に掲載する粘土科学討論会のお知らせ及びプログラムの確認を行った。

- ・粘土科学討論会では、座長、ベル、マイク係をセッションごとに本会会員が分担して行う旨説明があった。担当する会員およびその役割はプログラムに記載して周知することとなった。
- ・見学会の見学コースに関して、現在関係各所との調整を行っているとの報告があった。

(2) その他 特になし。

3. 協議事項

- (1) 平成 26 年度日本粘土学会賞等選考結果：八田常務委員長より日本粘土学会賞等選考結果について報告され、承認された（別紙）。
- (2) 平成 26 年度日本粘土学会学術振興基金選考結果：八田常務委員長より学術振興基金賞の選考の結果 2 名を採択したとの報告がなされ、承認された（別紙）。
- (3) 法人化準備委員会からの報告：八田日本粘土学会法人化準備委員会委員長より、昨年度の総会において山田会長より諮問のあった法人化に関して、法人化準備委員会の答申の説明があった。結論として、日本粘土学会は一般社団法人日本粘土学会へ移行するよう提言するとの説明であった。報告された答申に関して評議員会で承認され、H26 年度総会で諮ることとなった。また、総会において承認された場合には、同委員会を法人化委員会として法人化に向けた活動を継続することとする旨確認された。

4. その他

- ・会長、評議員等選挙結果開封日程および会計監査日程等の調整が行われた。

以上